

特集

ボクらの教室、学校林

学校林——。

学校にグラウンドやプールがあるように、じつは森林もりもあるんです。

はじめは明治時代。

アメリカの教育学者さんが紹介した植樹運動Arbor Day（愛林日）をお手本に、全国の学校が森を造りはじめました。

昭和に入ってから校舎を建てる時の柱や板に使おうと育て続けました。

でも、時は移り、校舎は木造から鉄筋コンクリートへ。

残念ながら学校林の木はあまり使われなかったようです。

そんな学校林が再び脚光を浴びたのは平成に入って10年が過ぎてから。自ら学び、考えるチカラを身につける【総合的な学習の時間】の導入をきっかけに、体験することや住んでる地域を学ぶことが増えたのです。

こうなると森林は格好の場所。

学校林を“教室”にすると、色んなことが学べるんです。

今回の特集は鮭川小学校（鮭川村）の学校林活動。

題して「ボクらの教室、学校林」

子供たちは、人と人、過去と未来のつながりも学んだようです。



「こんにちは

もりしあ

です。」

CONTENTS

- 3 特集 ボクらの教室、学校林
- 6 インタビュー もりしあ人
- 7 第38回全国育樹祭開催！！
- 8 企業だって森づくり♪
- 9 なぜ？なに？やま・もり
- 10 みんなでTRY [最上・庄内]
出かけてみよう 天元台（米沢市）
- 11 プレゼントクイズ
- 12 やまがた緑環境税の使いみち

皆さんは、“森がある幸せ”を感じていますか？

山形には、豊かで美しい森があります。
この豊かな森やそこに関わる人々、
木がある暮らしetc.をお届けします。

山形の森を、“森がある幸せ”を、
身近に感じていただけたら幸いです。